

彦根市の将来を考える

市民100人に問う

アンケート実施

「彦根ブランドデザイン研究会」（小出秀樹代表幹事）は18日、彦根市の将来を考えるため、問題点や合併の枠組みのあり方などを市民千人に問うアンケートを今月中旬に実施することを明らかにした。

研究会は、市内の経済

界有志25人と彦根百貨卸商業協同組合（11社加盟）が4月に設立。地場産業の沈滞や観光客の減少傾向に対し、具体的な施策づくりを目指している。

調査では、市が抱える問題点、教育問題、経済活性化に必要な施策、まちづくりの方向と将来の合併の枠組みについて質問する。調査結果は提言書にまとめられ、市民

や行政、各種団体に示す。